

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 5 年 3 月 24 日 (2023.3.24)

【公開番号】特開 2020-111505 (P2020-111505A)

【公開日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-029

【出願番号】特願 2020-42335 (P2020-42335)

【国際特許分類】

C 0 1 B 32/30 (2017.01)

B 0 1 J 20/20 (2006.01)

B 0 1 J 20/28 (2006.01)

B 0 1 D 53/02 (2006.01)

C 0 1 B 32/306 (2017.01)

10

【F I】

C 0 1 B 32/30

B 0 1 J 20/20 B

B 0 1 J 20/28 Z

B 0 1 D 53/02

C 0 1 B 32/306

20

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 15 日 (2023.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

Q S D F T 法によって算出される細孔容積のうち、1.5 nm 以下の範囲の細孔径の細孔容積 B (cc/g) が 0.4 cc/g 以上、

Q S D F T 法によって算出される細孔容積のうち、0.65 nm 以上 1.0 nm 以下の範囲の細孔径の細孔容積 E (cc/g) が 0.2 cc/g 以上、且つ、

Q S D F T 法によって算出される細孔容積のうち、2.0 nm 以下の範囲の細孔径の細孔容積 C に対する、前記細孔容積 B の割合 (B/C) が 0.880 ~ 0.985 である、活性炭であって、

ジクロロメタン平衡吸着量が 40 質量% 以上である、活性炭。

【請求項 2】

前記細孔容積 C (cc/g) に対する、Q S D F T 法によって算出される細孔容積のうち、1.0 nm 以下の範囲の細孔径の細孔容積 A (cc/g) の割合 (細孔容積 A / 細孔容積 C) が 0.5 ~ 0.94 である、請求項 1 に記載の活性炭。

40

【請求項 3】

前記細孔容積 C に対する前記細孔容積 B の割合 (細孔容積 B / 細孔容積 C) が 0.90 ~ 0.99 である、請求項 1 又は 2 に記載の活性炭。

【請求項 4】

前記活性炭が繊維状活性炭である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の活性炭。

【請求項 5】

前記ジクロロメタン平衡吸着量が 45 質量% 以上である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の活性炭。

50

【請求項 6】

気相中のジクロロメタンを吸着させるために用いられる、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の活性炭。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の活性炭を含む、ジクロロメタンの吸着剤。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の活性炭を用いる、ジクロロメタンの吸着除去方法。

10

20

30

40

50